

第2回学生委員会資料

<2024.10 アンケート＋今期各クラブからの主な意見>

1. 部会活動について

- ・学生数の減少で役員や部会員の負担が大きい活動は負担の少ない体制に
- ・部会活動が全てなくなるのは残念なため、必要な活動は会費徴収を前提に見直す
- ・部会活動は止めて、再開が必要になった時点で判断する。

2. 部会活動以外の学習について

(1) 一般教養

- ・日本史や世界史、生駒市の歴史、特産物、奈良先端科学技術大学の研究、吉本芸人による笑い、詐欺防止スキルアップ、コンサート（吹奏楽等）などの検討

(2) 実務講習

- ・シニア向け座学が多く、身体を動かす講習を増やしてほしい
- ・気象災害等の防災対策 など

(3) 学則について

- ・学則はゆるすぎる。進級の際の一般教養、実務講習、イベント参加、クラブ活動の履修回数を規定すべきで、例えば令和5年改訂前の学則に戻す
- ・再入学者も4年まで在学出来るようにするか、年数制限撤廃
- ・再入学者への気遣いや学習意欲の低下などから再入学者制度に反対

(4) 大学全体に対して

- ・クラブの枠を超えた学生間の交流は絶対必要
例えば、実務講習後に分科会的な場を設ける
年間数回の軽スポーツ体験会を行う
意欲のある方が企画し寿大学のHPで交流仲間を募集する
現役時からOB会のサークルに参加する など
- ・授業料を値上げしてでも授業の回数を増やす
- ・入学検討者に対して説明会に加えて各クラブの「体験教室」を実施
- ・寿大学ボランティアの募集、派遣、登録制度等の取り組みの検討

(5) その他

- ・在学中の校歌の練習或いは卒業式に校歌の楽譜を配布してほしい

3. 今後について

- ・10月の第4回学生委員会でアンケート用紙配布、11月末までに回収予定

《参考1》「部会」とは、学生委員会の自主的な活動や行事を積極的に運営する組織。

構成：部会長＋活動に必要な人数を各クラブから選出。※令和元年132名。

《参考2》高齢者向け大学の近隣自治体の事例 橿原市

- * 1990年開校の「まほろば大学」を2023年閉校
- * 後援＜奈良県、奈良市、橿原市、市の教育委員会 運営は民間に委託
- * 授業料：14,300円/月＝年間171,600円（寿大学の約30倍）講義42回/年
- * 学生数：約300名 平均年齢73.9歳（2024年4月現在）
- * クラブ活動：史跡探訪部、絵画部、書道部、歴史文学部、奈良探求部
- * サークル活動、文化祭、研修旅行、懇親会ほかレクリエーション、ボランティア活動